

令和5年度

馬路小学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 自ら学び続ける子どもを育成する。
- 家庭・地域・近隣校と連携し、少人数を生かして子どもの生きる力を育成する。

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 2年担任：中山祐子

委員 校長・総括：新藤 克己
教頭・総括補佐：横田 昌人
3・4年担任：田原 泰子

校長

新藤 克己

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

校内研修や教員からの報告等で、取り組み状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○国語・算数の「知識・理解」の領域については一定の成果が見られ、単元テストではよい成績がとれる児童が多い。 ●語彙数が少なく、問題を読み取る力や自分の考えをまとめる力に課題がある。 ●日記などで意欲的に漢字を使って書くことが少ない。	・各学年で習得する基礎的・基本的な知識・技能を身につけることができる。 ・学期末漢字・計算テスト(80点以上)の達成率70%以上。 ・日記や作文の中で既習の漢字や表現方法を使うことができる。	・基礎的な漢字や計算のスキル向上のために、宿題や朝活で継続的に練習を行う。 ・ポイントになる文にアンダーラインを引く等し問題文の意図を読み取る力をつける。 ・読み取る際のキーワードなどを示す。 ・朝活で読書活動(新聞活用含む)に取り組み、読書カードでチェック集計し語彙力の向上につなげる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○方法や手順が決まっている活動に意欲的に取り組むことができる。 ●自分の考えを、筋道立てて表現することが苦手である。 ●友だちの意見を参考にして自分の考えを深めようとする意欲に課題がある。 ●表現力が乏しく、自分の思いを言葉で伝えることが難しい。	・自分の考えに理由をつけて発表することができる。 ・友だちの発表を聞いて、質問したり自分の考えを伝えたりすることができる。 ・日常会話や授業中の発表で、自分の思いや考えを伝えることができる。	・他校との交流活動や合同学習で対話の機会を設定する。 ・タブレットを活用し、学習したことを表現する機会を多く設ける。 ・児童との会話を大切にし、正しい表現方法を伝えられるようにする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学校のきまりを守って学校生活を送ることができる。 ●自ら課題を見つけ、解決しようとすることに苦手意識がある。 ●自分のこととして考えながら聞くことに課題が見られる。	・家庭学習は各学年で目標としている時間(低学年 30分・中学年 45分・高学年 60分)以上取り組む。 ・自分の苦手な学習を把握し課題や学習に積極的に取り組むことができる。 ・友達の発表を、自分の意見と比較するなどして、考えながら聞くことができる。	・現在の生活や学習をふり返る機会を定期的に設ける。 ・振り返りしやすいノート指導をし、主体的に自己課題に取り組めるようにする。 ・朝会や集会の話を振り返り、自分の意見も加えて発表する時間を設ける。 ・聞き方のポイントを提示する。			

令和5年度 学力向上ロードマップ



